

# ま ち の 話 題

身近な情報をお寄せください  
企画調整課広報聴係  
(☎373-2111 内333)

## 思い切って挑戦しました

第二回白根ミニトライアスロン

第二回白根ミニトライアスロン大会が七月三日、白根高校を主会場に三十九人が参加して行われました。当日は、気温もさほど上がらず、まずまずの天候。競技は午前十時に水泳からスタートしました。四百メートルの水泳では、クロールできつそうと泳ぐ人。泳ぐより走ったほうが速いとばかりに、いっしょうけんめい走る人。マイペースを守り、平泳ぎで悠々と楽しむ人など。続く十六・四の自転車、六・四のマラソンは、下八枚までの往復です。選手は、擦れ違う度に「ガンバ」「ファイト」と声を掛け合っている。全員が完走しました。今回初めて挑戦し、選手宣誓も務めた遠藤聡さん(二十一歳・中塩俣)は、「若いうちに出来る事をどんどんやってみよう、思い切って挑戦しました。練習は、一日おきにランニングをしたくらいで、水泳、自転車はほとんどぶっつけ本番です。何度か苦しいことは経験しましたが、あれほど苦しかったのは生まれて初めて。いい経験になりました」と話します。



優勝の長谷川さん  
足に注目！



いや〜まいったな  
まだ50メートルか

## 初挑戦で県大会三位

新飯田 野球少年団

第八回全日本学童軟式野球新潟県大会で新飯田野球少年団が、初出場三位に入る大健闘をしました。同野球少年団は、新飯田小四年生から六年生までの三十九人が所属。練習は、毎日曜日前六時から八時までの二時間という少なさですが、守備を中心にやってきました。大会では、下越地区予選三試合を接戦で勝ち抜き、各地区代表四校が出場する県大会は新潟地区代表の女池ロードーズ(優勝)と対戦。二対三で惜敗し、三位となりました。あまり野球の盛んでない同地区では、この快挙を大いに喜んでいます。

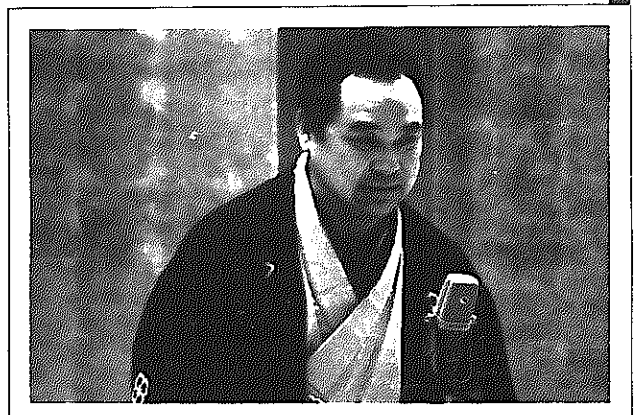


第八回全日本学童軟式野球新潟県大会  
会場

## いやーおもしろかった

チャリティー 席

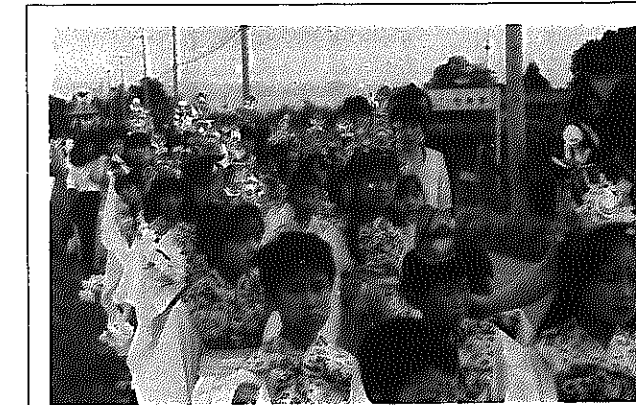
林家こん平・こぶ平の両真打を迎え、七月九日、チャリティー寄席が行われました。これは、会場となったサルナート吉運堂が今秋で三周年を迎えることからTNNの「24時間テレビ」の一環として企画。会場には、生の落語を聞くのは初めてという主婦をはじめ、五百人を超える観客が詰めかけました。故三平師匠をしのばせる芸風のこぶ平師匠、新潟出身ならではの越後弁で熱演のこん平師匠。二人の大熱演に会場は爆笑の渦。「いやー、おもしろかった」という声があちこちで聞かれました。



## ち

ちょっと緊張ぎみに行進 東置場 稚児行列

「七月二日は、雨を降らせたくない」と東置場区長、山際和治郎さん。なぜかと言えば、この日は須賀神社御遷宮稚児行列があるからだ。須賀神社は嘉永三年に完成し、昭和二年に改築、今年六十一年ぶりに屋根のふき替え工事が行われました。屋根の銅板が美しく、飾りもびかびかに光り輝いています。山際さんの願いどおり、当日は前夜の雨も上がり、お待ちかね稚児行列の始まりです。京都から取り寄せたという華やかな衣装に身を包んだ同地区などの子どもたち百人。ちょっと緊張ぎみに行進していました。



## 四

十年の歩みを明日へ 大郷地区婦人会 記念式典を開催

六月十九日、大郷地区婦人会の四十周年を祝う記念式典が、大郷小学校で行われました。長年婦人会活動に携わってこられた吉原ミサキさんをはじめ、七人のかたがたに感謝状が贈られると、会場からは大きな拍手が起こっていました。駆けつけた市長らの「地域の活性化は婦人の肩にかかっている。四十周年を二十一世紀への飛躍のステップに」という祝辞に、会員の顔も引き締まります。戦後の混乱期にいち早く組織された婦人会だけに、一つの節目を迎えた皆さんは、感慨もひとしおといった表情でした。



## 祭

祭りに風を揚げたい 福岡県から 風の勉強に

祭りの新しい催し物として風揚げ大会をするので、技術指導をお願いしたい。と七月十三日、福岡県城島町の職員が本市を訪れ、風合戦協会の本間祐一事務局長から、風作りや揚げ方の手ほどきを受けました。訪れたのは、同町企画室の大坪功和さんと、「子供風合戦用の風作り」にまず挑戦し、うまく作れたら小学校の児童と揚げたい」と話し、本間事務局長は「説明だけではわかりにくいと思いますが、とにかく作ってみてください。わからないところがあればいつでも電話を。成功を祈ります」と話していました。



## 太

極拳で疲れを取る あぜみち 講座

農村婦人の学習と仲間作りを目的とする「あぜみち講座」では、七月十三日から巻町の県農協学園で、一泊二日の研修会を行いました。研修日直前に大雨があったため、参加者は十一人とやや少なめでしたが、転作物の栽培技術を学習したり、農作業補助衣を作成したりし、意義ある二日間となったようです。今回は、特別企画として太極拳健康法を講義に取り入れ、全国に三十人しかいない指導者の中から新潟市の友正慈先生を招き実技指導を実施。参加者は、「農作業の合間に取り入れた」とたいへん好評でした。

